

LTSユーザー様

Spirent Communications社製  
LTS(Location Technology Solution)  
TestDrive LTSソフトウェア ログ取得手順書 Rev.D

2021年6月4日  
株式会社東陽テクニカ

# 本手順書の内容

- ／ 本手順書は、Spirent Communications社製LTS(Location Technology Solution)のTestDrive LTSソフトウェアを用いた試験に関するお問い合わせの際に必要なログ情報の取得方法を示します。
  
- ／ 本書は以下の内容で構成されています。
  - 》 1. 必要なログ情報の種類
  - 》 2. Resultファイル取得手順
  - 》 3. Wiresharkログ取得手順
  - 》 4. SSEログ取得手順
  - 》 5. 本製品に関するお問い合わせ先

# 1. 必要なログ情報の種類

## エラー時のスクリーンショット

## テストシナリオのResultファイル

\*取得方法詳細は、2項を参照

## システムログファイル

以下のフォルダ内の試験実行日時に該当するログファイルをご提供下さい

共通パスは

D:¥Spirent Communications¥TestDrive ULTS¥LTS[バージョン番号]¥

上記ディレクトリ内の

¥CS8¥CS8 Interactive Tester¥CS8InteractiveTester[試験年月日]\_[試験時刻].log

¥CS8¥CS8 Interactive Tester¥RRCLog [試験年月日]\_[試験時刻].log

¥Positioning Application¥PosApp\_message\_log\_[試験年月日時刻].txt

¥Positioning Application¥PosApp\_engine\_message\_log\_[試験年月日時刻].txt

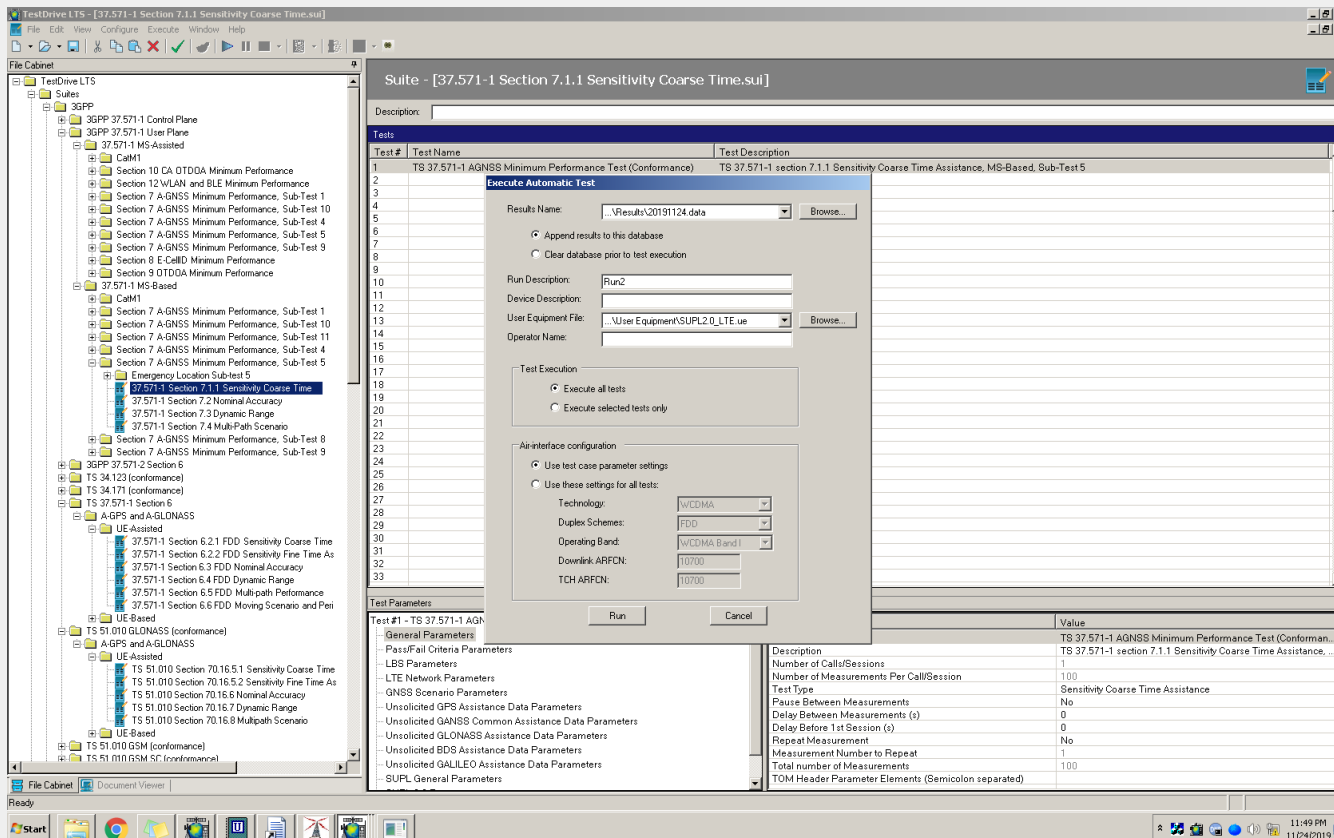
¥ULTSLOG¥[試験した年月日のフォルダ]¥

## Wiresharkログファイル

\*取得方法詳細は3項を参照

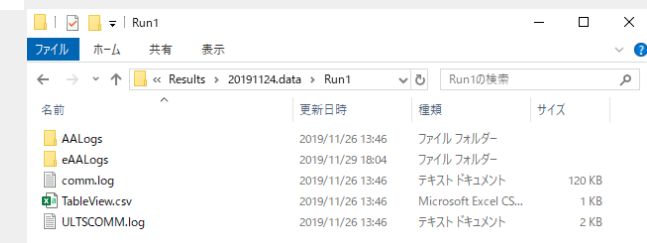
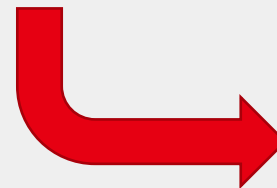
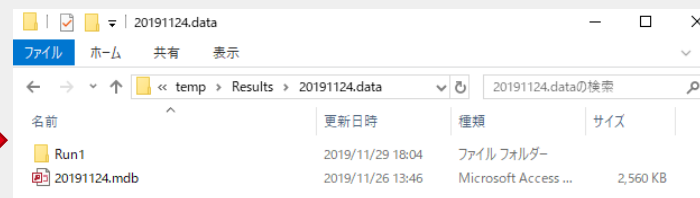
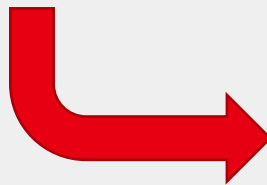
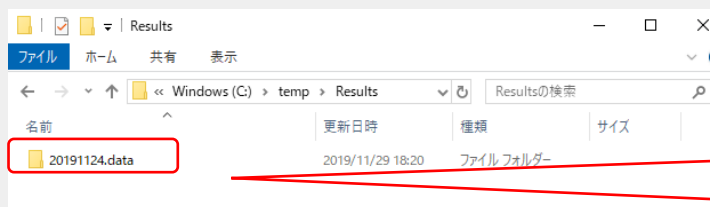
# 2.Resultファイル取得手順(1/2)

1. 試験開始前に設定ダイアログのResult Nameに任意の結果ファイル名を入力します。下図の例では、20191124.dataとなります。
2. Runボタンをクリックして試験を実行します。



## 2.Resultファイル取得手順(2/2)

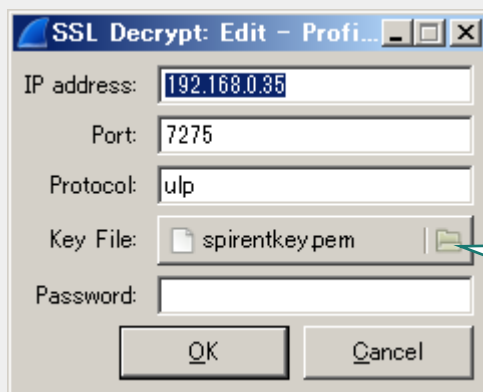
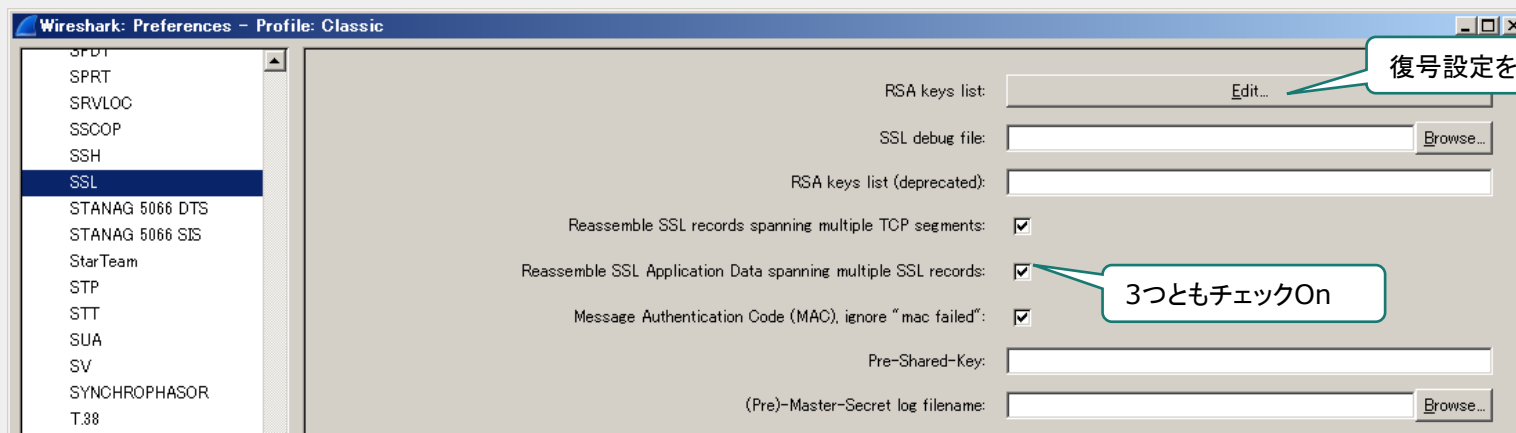
3. 事象が発生したら、画面キャプチャー等を取得後、TestDirveソフトウェアを終了します。  
**\*もし、自動的に試験が終了しない事象であれば、試験中止ボタンをクリックして終了してください。**
4. Widowsのエクスプローラで、Resultファイルの保存場所にアクセスします。
5. Resultファイルは、フォルダとなっています。内部のすべてのファイルが必要となります。このフォルダをそのままZipして送付して下さい。



弊社に送付頂く際は、  
このフォルダをzipして送  
付して下さい

# 3. Wiresharkログ取得手順(1/2)

1. Wiresharkを起動し、Preferencesにて、SSLに設定を追加します。  
\* 一度設定すれば次回以降不要です。



Key Fileには以下のファイルを指定します  
 C:¥Program Files (x86)¥Spirent Communications¥TestDrive  
 ULTS¥PRIVATEKEYS¥spirentkey.pem

他のPCでログを確認する際も、上記ファイルをローカルにコピーして同様の設定を行います

## 3. Wiresharkログ取得手順(2/2)

2. 試験実行前にWiresharkのStartボタンを押します。
3. Filterに“ulp||ssl||dns”を入力します。
4. Applyボタンを押します。
5. 試験完了後、Stopボタンを押します。
6. WiresharkのFile/Export Specified Packetsを選択します。
7. “All packets”および“Displayed”にチェックを入れ、Saveボタンを押します。

## 4. SSEログ取得手順

SSEログファイルは弊社サポート担当から要求があった時のみ取得してください。

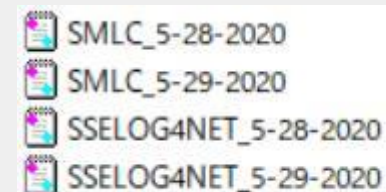
1. 試験実行前に以下の2つのファイルをテキストエディタで開きます。  
 C:¥Program Files¥Spirent Communications¥Spirent SMLC Emulator¥SSE.log4net  
 C:¥Program Files¥Spirent Communications¥TestDrive ULTS¥ULTSLogConfig.log4net
2. 下記のように編集して保存する。  
 \* 既に下記のようになっていればそのままでもかまいません。

```

<log4net>
<root>
  <level value="ALL" />
  <appender-ref ref="LogFileAppender" />
</root>

```

3. テストケースを実施する
4. テストが完了したら、下記フォルダにあるファイルを取得する。  
 C:¥Program Files¥Spirent Communications¥Spirent SMLC Emulator¥EventLog  
 \* テストケースが実行された日に生成させたファイルのみ  
 取得して頂ければ問題ありません。





## 4. 本製品に関するお問い合わせ先

### 株式会社東陽テクニカ

》 営業部門： 情報通信システムソリューション部

》 Tel: 03-3245-1250

》 技術部門： 情報通信技術部

》 Tel: 03-3245-1107

》 E-Mail: [Spirent LTS Support@toyo.co.jp](mailto:Spirent_LTS_Support@toyo.co.jp)

# 改訂履歴

- Rev.A, 2013/3/28  
初版発行
- Rev.B, 2020/5/14  
最新TestDrive LTSソフトウェアVersionに対応
- Rev.C, 2020/6/3  
最新TestDrive LTSソフトウェア SSEログファイル取得手順追加
- Rev.D, 2021/6/4  
フッター修正